



檜山地本通信

第9号 2010年9月15日 発行

発行 自治府北海道檜山地方本部 TEL0139-54-2012 FAX0139-54-2010

自治研全道集会開く



9月10(金)～11日(土)と2日間にわたり、厚沢部町において第33年次自治研全道集会在開催されました。羅臼町職、網走市労連、枝幸町職、地元厚沢部町住民など、全道各地から全13地方本部、合計151人が参加しました。

初日は、午後1時から保健福祉総合センター「あゆみ」で、始めに達坂誠二衆議院議員が、「地域主権について」と題し、基調講演しました。



パネリストとして、厚沢部町荻田町長、江差町大坂建設課主幹、内閣府地域主権戦略室望月次長、自治労中央本部石上総合政治政策局長が、地域主権のあるべき姿について、それぞれの立場から意見を交わし、議論を深めました。

全体集会終了後、山村開発センターへ場所を移し、午後6時から参加者

で交流会を開きました。交流会では、管内の特産品の「試食・試飲コーナー」を設け公表でした。交流会のアトラクションとして厚沢部町職から「キュートン」を披露し、場内は喝采の渦となり、交流が一層深まりました。

自治研全道集会 分科会

2日目は、午前9時から保健福祉総合センター「あゆみ」と山村開発センターの2会場に分かれ分科会を開催し、それぞれのテーマでレポートの発表を行いました。

檜山からは、次表のとおりに計6人(1人欠席)がそれぞれの分科会に分かれ、発表を行いました。



最後に各分科会の取りまとめを行い、12時過ぎに終了し、自治研集会は幕を閉じました。

この間、全道集会開催にあたり、厚沢部町職はじめ、各単組・総支部のご協力をいただきました。ありがとうございます。おかげさまで自治研集会は成功裏に終了することができました。この経験を今後につなげていけるよう、努めていきます。

レポート提出単組・総支部	提出者	レポート名	分科会名	提出先
厚沢部町職	石井 淳平	自治体職員のキャリア形成と専門性	分科会Ⅳ「自治体改革運動と財政」	全道・全国両方
奥尻町職	横田 稔	奥尻町の財政分析による現状と今後の取り組み	分科会Ⅳ「自治体改革運動と財政」	全道のみ
檜山総支部	西海谷 幸恵	南檜山地域医療の現状と将来 Part2 地域医療再生計画に基づく医療体制の整備、安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、地域宣言センター病院としてのあり方とは	分科会Ⅲ「子育てから介護まで、安心のまちづくり」	全道・全国両方
檜山総支部	山崎 史貴	檜山の医療を守るために	分科会Ⅲ「子育てから介護まで、安心のまちづくり」	全道・全国両方
せたな町職	坂谷 洋二	せたな町の医療体制に係る現状と課題	分科会Ⅲ「子育てから介護まで、安心のまちづくり」	全道・全国両方
江差町職労	中村 博之	キャンベラ～人の集まる場所	分科会Ⅱ「地域住民とともに歩むまちづくり」	全道のみ
上ノ国町職	平井 茂樹	小さな集落の共同作業による取り組み	分科会Ⅰ「北海道の食と農、そして環境を考える」	全道のみ



檜山地方本部 当面のスケジュール

(9月15日現在)

- 9月15日(水) 第9回道本部組織強化委員会(札幌市)
- 17日(金) 第3回自治研推進委員会(江差町)
- 21日(火) 第3回四役会議(江差町)
- 25日(土) 第4回執行委員会・単組総支部代表者会議及び第2回組織強化拡大員会合同会議(江差町)
- 26日(日) 第3回おおさか誠二政経セミナー(函館市)
- 27日(月) 町村連絡会議総会(札幌市)
自治労北海道「ブロック・地方本部専従者OB会」(札幌市)
- 28日(火) 第51回道本部定期大会～29日(札幌市)

編集後記

暑さと雨が重なった夏も過ぎ、いよいよ中秋の名月を愛でる秋となりました。
秋は、味覚の秋、読書の秋といろいろ言われますが、みなさんは秋の夜長に何をしてお過ごしになりますか。

私も4月から着任し、丸5カが過ぎました。10～11日の自治研集会を終え、いまは真っ白な灰に燃えつきた感がありますが、そう言うてはもられません。

今月も行事は目白押しです。専従者会議はすでに自治研集会終了後の11日奥尻町で開催しましたが、下旬には町村連絡会、専従者OB会、そして道本部の定期大会があります。これを取り越えると、いよいよ地本の定期大会の準備に取り掛からなければなりません。一回りするまでは、なかなか安心できない今日この頃です。(佐野)